

えひめ教育の日 実施状況

えひめ教育の日とは

愛媛県では、県民総ぐるみで教育について考え、行動する契機となる日として「えひめ教育の日」(毎年11月1日)、「えひめ教育月間」(毎年11月)を制定し、学校や行政だけではなく、家庭や地域などが一体となって、教育の推進を図ることとしています。

今年度、本校では、「えひめ教育月間」中の行事として、校内相互公開授業、授業公開日を実施しました。

事業名	校内相互公開授業
日時	10月21日～25日
場所	第1教棟、第2教棟、北教棟、体育館、グラウンド
参加者	本校教職員

教職員の指導力向上、授業改善を目的とし、「校内相互公開授業」を実施した。全教職員が、専門教科だけではなく、他教科の授業も選択し、相互に参観した。他教科の授業を参観することで、授業の展開での新たな気付きや、今まで気づかなかった生徒の新しい面を発見することができ、また、普段は参観することができない同じ教科のベテランの先生方の授業を参観し、刺激を受けることができた。



事業名	授業公開日
日時	10月23日・24日
場所	第1教棟、第2教棟、北教棟、体育館、グラウンド
参加者	保護者、関係学校教職員
<p>本校の教育活動を理解していただくことを目的として授業公開を行った。中学校と異なり、授業参観日を設けていないため、一年生の保護者を中心として多数の方に来校いただいた。「クラスの雰囲気がおだやかで授業中も落ち着いていて嬉しく思いました。」「真剣に授業に取り組む生徒の姿がとても素晴らしかったです。姿勢がみんないいですね。」「パソコンを使った授業見ました。先生方によって授業の工夫がいろいろとあり驚きました。」等、アンケート結果からは、おおむね本校教育活動に対して好印象を持っていただいたようである。</p>	



事業名	人権・同和教育講演会
日時	11月15日
場所	体育館
参加者	本校生徒・教職員、保護者、関係学校教職員

今年度は「ヒマラヤ青少年育英会」を立ち上げ、僅かな基金を元に貧しい子ども達の就学支援活動を行っている吉岡大祐さんを講師に迎え、「ヒマラヤに学校をつくる」という演題で講演会を実施しました。講演会では吉岡さんの生い立ちや、ネパールに行ったきっかけから始まり、ネパールの教育の現状や、女子教育の遅れ、カースト制度、日本とネパールの文化の違いなどを写真を交えて分かりやすくお話をしていただいた。その中でも、「異なる環境で生活してきた者同士なのだから、違って当たり前だけど、心が通じ合う瞬間がある」といったお話や、「支援をしたからと言ってそれが現地の人々の幸せにつながるとは限らない」と言ったお話が強く印象に残ったことが、生徒の感想文からもうかがえました。

また、この講演会を通じて、「自分の置かれている境遇がいかに恵まれたものであるかを再認識し、自らも国際的な貢献を行いたい」と感想に書いている生徒も多くいました。

講演会後には座談会も実施し、生徒からの熱心な質問に、丁寧に答えていただいた。

